

41005

教科書文庫

4
760
41-1914
25000 14325

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

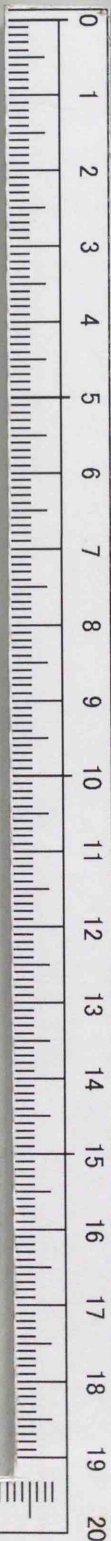
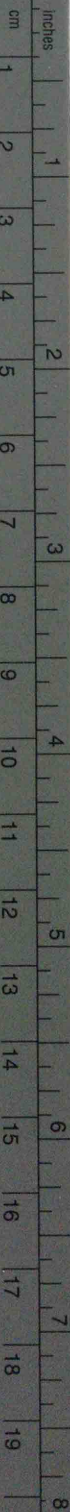


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



種別

出納簿口座全内譯番號

七四

村季晴編

中等音樂教科書乙種 卷四

弘樂社出版部發行

音樂第

760
308
2377



文部省檢定濟

大正三年九月廿五日



中等音樂教科書乙種

卷四

北村季晴編

弘樂社出版部發行

760
308
4, 2

縣第一九五号
和音樂
部每數四

307 登錄改正
2377

14325

緒言 (教授者へ)

一、本書は、別冊「中等音楽教科書甲種」中より、歌曲と、之に連絡關係ある樂典の項目及び其圖とを、拔萃して編纂したるものなり。

一、右「甲種本」は、我が中等教育に於ける音楽科の、實際的教科用書として、樂典と實科とを密接、追次に連絡せしめ、其他此の科の教授をして、出來得るだけ秩序系統あるものたらしむべき組織に成れるものなり。

一、當「乙種本」は、右「甲種本」中、理論科の説明、及び豫備復習に關する問答等を省きて、是等を教師の口授に譲りたるものなり。されば本書を用ゐらるゝ教授者は、右「甲種本」を必ず参照せられん事を望む。

一、「甲種本」には、所載の教材を、各學期の時間に配當し、其進度成績を示したる、參考教授細目と、歌曲の内容統計一覽表とを添附せり。これ亦参照せられ度し。

中等音楽教科書乙種卷の四目次

第一學期

歌曲 (二重唱歌)

花下舟遊……………一

四分の三拍子と八分の六拍子との差……………六
 二分の四拍子、二分の三拍子、四分の六拍子、八分の九拍子、八分の十二拍子……………六
 拍子分類表……………二連音符……………變拍子……………七
 問題……………八

歌曲

里わの夕……………九
 野遊……………一三
 演奏指揮法圖解……………一七

歌曲

手植の薔薇……………一八
 稗蒔賣……………二一
 樂曲の節度……………二五
 長短諸種の段落……………二五
 樂曲の形式……………二六

歌曲

都鳥……………二七
 はたらき男……………三一
 裝飾音……………三六

歌曲

夜の御社……………三八
 歸省の旅……………四二

第二學期

歌曲

○この君この國……………四七

七度音程…八度音程…十四音程……………五三

課題……………五三

七度音程練習曲……………五四

八度音程練習曲……………五四

歌曲

舊都の月……………五五

豊年……………五九

音程復習曲……………六三

秋思……………六四

歌曲 (三重音唱歌)

旅行……………六九

普通半音と半音階的半音……………七三

普通音程…變化音程……………七三

普通音程及變化音程表……………七四

問題……………七四

歌曲

靜夜讀書……………七五

茸狩……………七七

轉調によりて生ずる音程の變化……………八一

半音階練習曲……………八一

歌曲

日本武尊……………八二

正義……………八五

第三學期

浦のあけくれ……………八九

協和音程、不協和音程……………九七

完全協和音程、不完全協和音程……………九七

音程の轉回…複音程……………九七

歌曲 (四重音唱歌)

樂しき森……………一〇一

賤のをだまさ……………一〇一

和絃、三和音の種類、長音階の各音上の

三和音、聲音部、和絃の重複及び削除、

和絃の轉回、副主七度和絃と其轉回…一〇五

歌曲

卒業の歌……………一〇六

さかゆく大御代……………一〇九

附錄

日本音樂の音階

陰旋法、陽旋法……………一

諸旋法より成れる曲節の對照……………二

日本音樂の將來……………三

花下舟遊

一、櫻^(甲)は咲く川のみなみ、舟をうけていざや行かな。

^(合唱)尋ねし花あたり近し、

匂ひしるき春の風や。

^(甲)ますみの鏡と川底澄みて、

散らでも櫻の影ぞうつろふ。

櫻は咲く川のみなみ、舟をうけていざや行かな。

いざ 漕^(乙)げ いざ 漕^(乙)げ、^(合唱)いざや漕^(乙)げや、

いざ 漕^(甲)げ いざ 漕^(甲)げ、

いざ 漕^(甲)げ 漕^(乙)げ、^(合唱)いざや漕^(乙)げや。

二、歌聲^(乙)あげ櫓聲立て、いざや友よ漕^(乙)ぎて行けや。

^(合唱)花の舟を風もさすか、

霞深き波を分けて。

^(甲)散らぬは雲かや散るは雪かや、

心も空なる山櫻や。

歌聲^(甲)あげ櫓聲立て、いざや友よ漕^(乙)ぎて行けや。

いざ 漕^(乙)げ いざ 漕^(乙)げ、^(合唱)いざや漕^(乙)げや。

いざ 漕^(甲)げ いざ 漕^(甲)げ、

いざ 漕^(甲)げ 漕^(乙)げ、^(合唱)いざや漕^(乙)げや。

○尋ねつる花のあたりになりにつけり、匂ふにしるし春の山風。崇徳院
①増鏡清瀧川の底澄みて、散らでも花の影ぞうつろふ。知家
*志賀の浦や霞む浪間を吹分けて、花の舟さす比良の山風。法印定圓
※散るは雪散らぬは雲にまがひつゝ、心そらなる山櫻かな。勝命

花下舟遊 (其二)

歌曲
花下舟遊

Dolce.

ルか きき ハな ルカカ げマ マチ スミイカ かも かの かな

mf

cres rit---ar---

ハる は コゆ スき か テナ トラ モサ クラノ カゲ ムク ソ

ritar---

四

dan...do. a tempo.

サクハ サカ カハミ ナー

mf

dando. p. a tempo.

花下舟遊 (其三)

歌曲
花下舟遊

cres.

コイ コイ ヨシ ヨシ イサコイ コイ

p

poco rit.

コイ コイ ヨシ ヨシ イサコイ コイ

cres.

poco rit.

rit.

イサコイ コイ

rit.

a tempo.

D.S.

I.

II.

III.

諸種拍子の例

(甲)



(乙)



(丙)



四分の三拍子と八分の六拍子との類似点と相異点

諸種拍子の例



六

花下舟遊 (其一)



一(甲)サ クラ ハ サ ク カ ハ ノ ミ ナ ー ミ
ニ(乙)う た じ ぬ あ げ る じ ぬ た て ー て



歌曲 花下舟遊



フ テ フ ウ ケ ヨ イ ガ ユ カ ナ
い き や と も よ こ ぎ て ゆ け や



合 々 子 シ ハ ナ ア タ リ カ ー シ ニ カ ホ ヒ シ
唱 は な の ふ ね を か せ も き す ー か



五

里わの夕

はるかぜは
吹くともなきを、
小 柳 片 寄り 靡く。
たゞずめば
わが足のもと、
みぞ 川 ひそかに流る。

いづこを辿りて
行くぞと見れども、
ゆくへは霞みに
かくれて知れず。
麦^{むぎ}生のひばりは
おちては揚りて、
なくねも暮れゆく
里わのゆふべ。

里 わ の 夕

装飾音 = 碎音

歌曲 里わの夕

Andantino ♩ = 138. グスタフス氏(獨)より

Dolce.

8

p

ハ ル カ ゼ ハ ニ フ ク ト モ ナ キ ヲ コ

だ た す め ば わ が あ し の も と

Dolce.

ヤ ナ ギ カ タ ヨ リ ナ ビ ク

ぞ が は ひ そ か に な が る

二

里 わ の 夕

歌曲 里わの夕

ツギ

コ ラ タ リ テ ユ ク

ふ の ひ は け ち

三

レ ド リ モ ニ ナ

が て な く

p *rit.*

ハ カ スレ

ね む く

rit.

ミ ニ カ

ゆ く さ

a tempo.

ク と

レ テ

一

二

三

野 遊

一、つばなぬきて すみれ摘みて、

あそびくらす 春の花野。

友はいづこと

かへりみれば、

袖の下もとにむつれて飛ぶや小蝶。

(甲)やさしの (乙)こゝろや (合唱) 茲こゝにとまれ、

(甲)つばさを (乙)やすめて (合唱) しばし眠れ。

二、鳥は鳴きて 花は笑ふ、

いへち忘れ けふも來きしか。

花にうかるゝ

うかれごゝろ、

あまつ空に遊ぶ糸となるらん。

(甲)げにく (乙)いとゆふ (合唱) みだれゆけば、

(甲)人さへ (乙)野山に (合唱) みだれてゆく。

野 遊

歌曲
野遊

Moderato. $\text{♩} = 112.$ グローバニ調より

ニッパ ナ ヌキーテ - スミレ - ツキーテ アー
ニとーり は なきーて - はな - は - わら - ふ - い

ン ビクラー ス - ハル - ノ - ハナ - ノ ト
ハヂ あ - す - れ - け - ふ - も - き - し - か は

一六

モ ハイ ツー コト カヘ リミレー バ ソー
な に う - か - る - ら う が が - こ - ろ ち

野 遊

歌曲
野遊

dim. *dolce.*

テ ノ モー ト - ニ ム ツ レ ト - ア - ヤ コ テー ヤー
ま つ ゴ - り - に あ そ お い - と - と なる り ん げー

dim. *p.*

サ シノ コー コ ロ ヤ コ コ ニ ト - マー レ ツー
に げに り - と ゆ ふ み だ れ ゆ - け - ば ひー

Ped.

cresc.

バ サヲ ヤー ス メテ シ バー シー 子 ム レ
と さへ の - や まに み だ - れ - て ゆ

一五

手植の薔薇

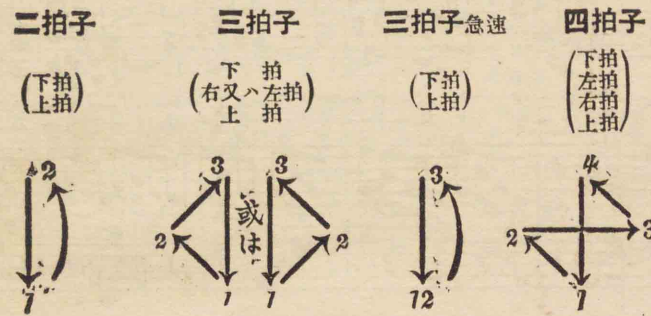
一、^(合唱) 枝にかたき化の紐は、
 ほどけてさけて朱あかに開く。
 あな ^(甲) あな ^(乙) あはれ ^(甲) あはれ ^(乙) うばらの花

二、^(合唱) 思へば春を母とすれば、
 わが持つ小せ鋏はは汝なれが父ぞ。
 あな ^(甲) あな ^(乙) あはれ ^(甲) あはれ ^(乙) うばらの花
 あさゆふかけしなさけのかひ 今こそ見えけれ。

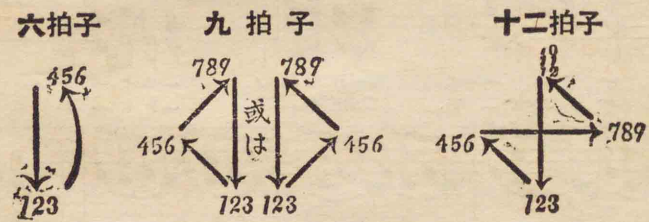
咲きこそみだるれ。

演奏指揮法

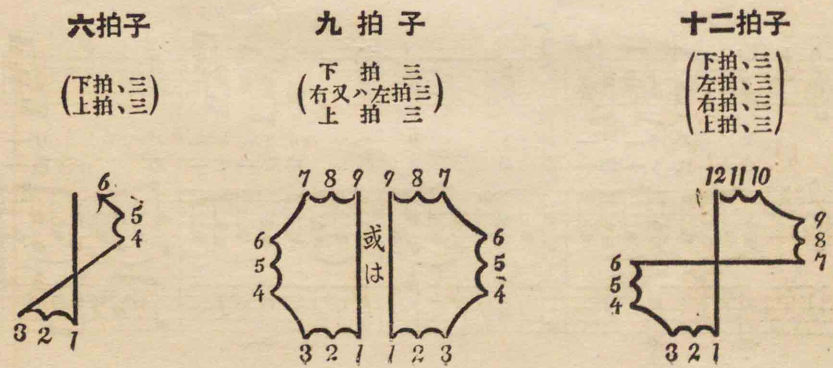
單進拍子



複進拍子 (早きもの)



複進拍子 (遅きもの)



演奏指揮法

稗蒔賣

一、日影しろき 菅すげの小笠をかさ

聲をあげて ふしおもしろ。

『めせや〜 稗蒔ひえまきめせ』

『めせや〜 稗蒔めせ』

通れば町の風かぜ薫る。

『めせや〜』 聲のよさや ふしのよさや

よしと聞けば またも聞ゆ

『めせやめせ』

二、やよと呼べば 賣聲うりこゑ來る

垣根かきねのそと 聲のよさや。

『めせや〜 稗蒔めせ』

小田おだに案山子あかやまこ 稲田いなだに鶴つる』

愛嬌あいけう賣りてやがて行く。

『めせや〜』 遠くちかく ふしのよさや

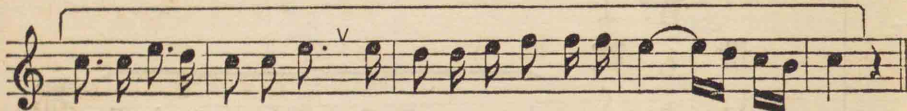
町にみつる 夏の聲や

『めせやめせ』

歌曲の形式

(丁) 九小節の段落

(第三卷、五一頁「機月の」の一部)



(戊) 五小節の段落

(第三卷、五七頁「維新の志士」の一部)



(己) 六小節の段落

(英國國歌の一部)



歌曲の形式

第一 段落			
第一 樂句 (v)	第二 樂句 (1)		
第一 中節	第二 中節	第三 中節	第四 中節
動機	"	"	"

第一 段落	
第一 樂句 (3)	第二 樂句 (1)

二六

樂曲の節度

(第二卷一頁「鷲雲雀」の一部)

第一 樂句				第二 樂句			
第一 中節	第二 中節	第三 中節	第四 中節	第一 中節	第二 中節	第三 中節	第四 中節
動機	動機	"	"	"	"	"	"

サクラバナニホヘルカタオカノフモトラ 家ガラカノツグヒスゲニオモシロ

(甲) 弱起の節度

(第二卷、一六頁「夏の暁」の一部)

樂句		樂句	
中節	中節	中節	中節

(乙) 強起及び弱起混合の節度

(ベートーベン氏より)

樂句		樂句	
中節	中節	中節	中節

長短諸種の段落

(甲) 九小節の段落 (メンデルゾーン氏)



(乙) 七小節の段落

(モーツァルト氏)



(丙) 十小節の段落

(第二卷、四八頁「國旗」の一部)



樂曲の節度、長短諸種の段落

二五

都鳥

昔男ありけり。その男身を益なきものに思ひなして、京には居
らじ、東の方に住むべき所求めにとて往きけり。……武藏
の國と下總の國との中にいと大なる河あり。それを隅田川と
いふ。その河の邊に群れ居て思ひやれば、限りなく遠くも來に
けるかな、とわびあへるに、渡守、早や船に乗れ、日も暮れなんと
いふ。……さる折しも白き鳥の、喙と足と赤き、鳴の大きな
る、水の上に遊びつゝ、魚を食ふ。……渡守に問ひければ、こ
れなん都鳥といふを聞きて、

名にし負は、いざ言問はん都鳥

わが思ふ人はありやなしやと

とよめりければ、舟こそりて泣きにけり。

(伊勢物語)

一、そよ吹く川風の

音もすみだと 名には聞けど

世に住む甲斐なき 我身と思へば

あだなる名なりけり。

二、遠くも來つるかな

故郷びとも なみだ垂れて

われをや泣くらん 悲しの旅路や

夕日も沈みたり。

三、浮ぶは都鳥

聞くもなつかし 名にし負は

いざ言問はん わが思ふ人は

ありやなしやと。

都 鳥

歌曲
都鳥

Andante. ♩ = 88. リシツ氏(獨)より編

ニソミツ ヨホカ フクバ クモハ カキミ

三〇

ハッマ カーゼーノ ナニナニ ハダシ ケルニ
カーコードー ナリ、オホキ トルク モシモ スミツ ダシカ トモシ ナナニ ニカニ
ハダシ キナオ ケルハニ

都 鳥

歌曲
都鳥

ドデバ ヨワイ ニルザ スをコ ムヤト カナト ヒクハ ナラ キン ワのワ ガなか ミシオ トのモ オダフ

モビヘ バヤア ダフリ ナニ ルも リマヤ ケた リリト
モビヘ バヤア ダフリ ナニ ルも リマヤ ケた リリト

二九

はたらき男

(合唱) 村の鍛冶屋 村の大工

日本一の かせぎ男

(乙)トッテンカン

(甲)トッテンカン

(合唱) 晝もよるも

(乙)トッテンカン

(甲)トトトン

(合唱) あさも晩も

(乙)トッテンカン

(甲)トッテンカン

力限り かせぎにかせぐ

力限り かせぎにかせぐ

かせぎにかせぐ。

(合唱) 春も知らず 暮も知らず

黒くなりて かせぎかせぐ

(乙)トッテンカン

(甲)トッテンカン

(合唱) 槌をふるふ

(乙)トッテンカン

(甲)トトトン

(合唱) 斧をふるふ

うでも強く こゝろもつよし

うでもつよく こゝろもつよし

こゝろもつよし。

はたらき男は 世の寶

はたらき男は げに世の寶や。

はたらき男 (其二)

歌曲 はたらき男

三四

はたらき男 (其三)

歌曲 はたらき男

三三

裝飾音

倚音

(甲) (乙)

書法

奏法

碎音

書法

奏法

回音

(甲) 上位音よりするもの。

(乙) 下位音よりするもの。

(逆回音)

書法 奏法

書法 奏法

(丙) 變化音を含むもの。

書法

奏法

三六

はたらき男 (其一)

Allegro. ♩ = 144.

オーベール氏(弟)の歌劇
「泥工と鑄工」より編

歌曲 はたらき男

三五

夜の御社

一、なみきの榊杉 み空に黒く

いづこか御手洗 流れはひびく。

静に辿りて 落葉を踏みゆく

歩みのひびき 闇路に冴えて

夜は更けゆく。

ほのかに瞬く 社の御燈

蔀をもれて 一條しろし。

あはれ尊や。

あはれ尊や。

連音

(甲) (乙)

書法

書法

奏法

奏法

裝飾音

顫音

主音符より始めるもの。

上の音符より始めるもの。

書法

書法

奏法

奏法

變化音を含むもの。

短き音符に附けるもの。

書法

書法

奏法

奏法

三七

琶音

書法 奏法

書法

夜の御社

歌曲 夜の御社

四〇

歌曲 夜の御社

二 忌垣の御前に 伏して祈れば

心もすみゆく 夜の静けさ。

ひそかに我身を 思へば畏し

神の御稜威を 明暮うけて

あだに過ぎゆく。

頭をもたげて 御幣あふげば

そよぐは風か 御あかしゆらく。

あはれ畏や。

あはれ畏や。

歸省の旅 (其三)

歌曲 歸省の旅

タビニギヤ クルマハニマ
たのしや たびねのニこ

も たのしや た

スロモ スニオケ トニヲハニヤメ マ
ルニマハニマ スニモ スオケ トニヲハニヤメ マ

タレモユキタ ユタクニヤマカハサトムラニ
れはふた た びむかしのさとむらニ

四四

歌曲 歸省の旅

二 (合唱) 空のあなたに 眺めし外山も

(甲) いつしか過ぐれば (乙) 戀しの故郷

(合唱) 今日の前にぞ 近づきぬる

(甲) 急げ (乙) 急げ

(甲) 父も母も 我を待てり

(乙) 我を待てり わが兄弟

(甲) 友も待てり (乙) 待てり友も

(乙) 樂しや (乙) 樂しや

(合唱) 旅寝の衣を 今日解きて

われは再び 昔の里人

歸省の旅 (其一)

Allegro. ♩ = 78.

ヘンデル氏(獨)の聖劇
「ユダス、マッカボイス」中より編

歌曲
歸省の旅

ニクマラハシナリニク
ニクマラハシナリニク

サキモハシニマモ
サキモハシニマモ

ヤマカハニサトニハニ
クシテニハカニハニマモカハニサトニハニ

歸省の旅 (其二)

ホニキニケバ
ホニキニケバ

ユールソーラハモ
ユールソーラハモ

コニロイニサ
タリガニハルニサ

歌曲
歸省の旅

この君この國

(高聲部) 富士の山高く 琵琶の海深し

君見ずや此國ぞ わが代々の父母の國。

(低聲部) 我君は神ぞ 日の神の御末

あな畏かしここの君ぞ わがあふぐ代々の君。

(合唱) この國に生れ この君を仰ぎ

國人とわれほこり 國民とわれほこる。

(低聲部) 樂しきあけくれ

(高聲部) うれしき朝夕

(低聲部) いざともに學べ

(高聲部) いざともに勵め。

(合唱) 力あるわが腕かたむね

血汐燃えたつわが心

すべて望のひかりに振ふ。

この君の御稜威 この國のほまれ

われ揚ぐるか たのし。

この君この國 (其一)

Andantino. ♩ = 108.

ホーエルアュー氏(佛)の歌劇
「ヨハン、フォン、パリ」中より編

歌曲
この君この國

(高声部)
フジノーヤマ---タカーワ ビハノーウミ---フターシキミ---ミズ

(低声部)
ヤーコノ---クニヅ ワカ ヨ ヨーノフボノクニ わが---き---

五二

み はか---み---ぞ ひの---か---み のみ---す---る あな---か---し

この君この國 (其二)

ここの---き---の---ぞ わが---あふぐ よよのき

コノク---ニニ---ウマーレ コノキ---ミヲ---アフ---
み この---く---に に---う---ま---れ この---き---み をあ---ふ---

ギクニ---ビトト---ワレ---ホコリクニタ
ぎくに---びと---と われ---ほこ---り くに---たみ

歌曲
この君この國

五一

七度及び八度音程練習曲

(1) 七度音程練習曲

Exercise (1) consists of five staves of music. The first staff is a single melodic line. The subsequent four staves are pairs of staves, each pair containing a single melodic line and a corresponding bass line, illustrating various seven-degree intervals.

(2)

Exercise (2) consists of a single staff of music with a melodic line and a bass line.

(3)

Exercise (3) consists of a single staff of music with a melodic line and a bass line.

(1) 八度音程練習曲

Exercise (1) consists of two staves of music. The top staff is a single melodic line, and the bottom staff is a corresponding bass line, illustrating octave intervals.

Exercise (1) continues with a second pair of staves, showing another example of octave intervals.

(2)

Exercise (2) consists of a single staff of music with a melodic line and a bass line.

五四

[問設] 下圖に示せる七度音程中、何れが長七度にして、何れが短七度なるかを指摘説明すべし。

七度音程

Diagram showing seven-degree intervals on a staff. The intervals are: 短七度 (minor 7th), 長七度 (major 7th), 減七度 (diminished 7th), 完全七度 (perfect 7th), 増七度 (augmented 7th), 短八度 (minor 8th), and 長八度 (major 8th).

八度音程

Diagram showing octave intervals on a staff. The intervals are: 完全八度 (perfect 8th), 増八度 (augmented 8th), and 減八度 (diminished 8th).

完全一度 短二度 長二度 短三度 長三度 完全四度 増四度 減五度

完全五度 短六度 長六度 短七度 長七度 完全八度

七度音程、八度音程、十四音程、課題

十四音程

一度	二度	三度	四度
完全	短 長	短 長	完全 増
減	完全	短 長	短 長 完全
五度	六度	七度	八度
減 完全	短 長	短 長	完全

課題
 下記の表中、相當の所へ、
 卜調長音階に屬する十四
 音程を一箇づゝ記入せよ。

五三

舊都の月

徳大寺の左大將實定の卿は、舊き都の月を戀ひつゝ、……故郷の名残とては、近衛が原の大宮ばかりぞまし／＼ける。……大宮は御つれ／＼に……御琵琶遊されける所へ、大將つと參られ、……昔今の物語どもし給ひて後、小夜もやう／＼更け行けば、舊き都の荒れゆくを、今様にこそうたはれけれ。

舊き都を來て見れば

淺茅が原とぞあれにける

月の光はくまなくて

秋風のみぞ身にはしむ

と押返し／＼、三返うたひすさまれたりければ、大宮を初め奉りて、御所中の女房たち、皆袖をぞぬらされける。 (平家物語)

一、こよひこそ月かけは

一年のさかりなれ

よその空知らぬ野の

秋見んも興あらず。

(低聲部) 舊き都ぞ我は戀しき

(高聲部) わが駒急げや

(合唱) 虫のなくあなたこそ 近衛が原

あはれ／＼。

二、折しもや大宮は

つれ／＼に四ッに絲

さびしさを音に立て、

なく虫に合はせたり。

(低聲部) 月の光は隈なく見えて

(高聲部) 風のみ身にしむ

(合唱) 實定が今様に こそりて泣く

あはれ／＼。

舊都の月

Andante. ♩ = 80.

サリバン氏(英)より

歌曲
舊都の月

五八

舊都の月

歌曲
舊都の月

五七

豊年

一、^(甲) 来て見よ案山子の

指さす田の面は

黄金のしき波

白銀の露。

^(合唱) 豊かなる君が御代や

榮えゆく君が代や。

めでたの今日

うれしの今日

^(甲) 舞へや踊れや。

^(乙) めでたの若松

葉も枝も繁る

しげるや枝葉に

田鶴は子を生む。

^(合唱) 豊かなる君が御代や

榮えゆく君が御代や。

二、^(甲) 八束の足穂を

荷鞍に着くれば

短く見えたる

馬の首かな。

^(合唱) 豊かなる君が御代や

榮えゆく君が代や。

祝へや舞へ

舞へや歌へ

^(甲) 老いも若きも。

^(乙) わが親妻子と

植ゑたる早苗を

わが親妻子と

刈るぞ嬉しき。

^(合唱) 豊かなる君が御代や

榮えゆく君が御代や。

豊年

歌曲
豊年

Allegro, ♩ = 120. ロッシーニ氏(以)の歌劇
「アルセルモ、テル」中より編

First system of music on page 62, including vocal line and piano accompaniment.

Second system of music on page 62, including vocal line and piano accompaniment.

六二

Third system of music on page 62, including vocal line and piano accompaniment.

豊年

歌曲
豊年

First system of music on page 61, including vocal line and piano accompaniment.

Second system of music on page 61, including vocal line and piano accompaniment.

Third system of music on page 61, including vocal line and piano accompaniment.

六一

Fourth system of music on page 61, including vocal line and piano accompaniment.

秋 思

(合唱) 夜寒や 衣かりがね鳴きわたる此頃
恨みて汝も泣くかや 行く秋の蟲の音。
(甲) いづこより秋は来り
(乙) いづこへか秋は去る。
(甲) 去りて また来り
(乙) あゝ

(合唱) 蟲はまた鳴けども 雁はまた来れども
(甲) 時去れば還らず
(乙) 年ゆけば来らず
(合唱) たゞよふ水のゆくへと
消えゆくや年月
過ぎゆくや人の世。

(甲) あはれ あはれ
(乙) あはれ寂し
(合唱) あはれ寂し
ゆく秋

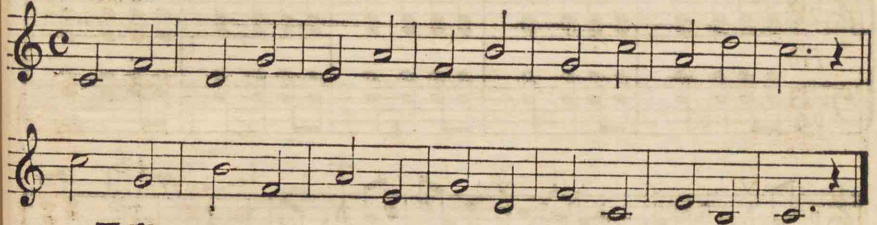
音程復習曲

(三度より八度に至る)

(1) 三度



(2) 四度



(3) 五度



(4) 六度



(5) 七度



(6) 八度



秋 思 (其三)

マ タ クレ フー モ ト キ サ

歌曲 秋思

レ --バカ ヘラ --ズ ト シユケ --バ

キ タラ --ズ タ グ ヨフ --ミ

六六

ヅ --ノ ユク ヘ ト キ エ ユク ヤ ト

秋 思 (其四)

シ ツ --キ ス ギユク ヤ ヒ

歌曲 秋思

ト ノ --ヨ ア ハレ ア ハレ ア ハ

レ サビシ ア ハレ サビシ

六五

ユ ク ア キ

秋 思 (其一)

Agitato. ♩ = 60.—72.

メンテラソーン氏(獨)より

ヨ サ ム ヤ - コ ロ - モ カ - リ

ガ チ ナ キ ワ タ ル コ ノ - コ - ロ

ワ ラ ミ テ - ナ レ - モ ナ - ク カ ヤ

ユ ク ア キ ノ ム シ ノ - チ

歌曲 秋思

六八

秋 思 (其二)

ツ コ ヨ - - リ ア キ ハ - キ タ リ

イ ツ コ ハ - - カ ア - キ ハ サ ル

サ リ テ マ タ キ タ リ ム シ ハ

マ タ ナ ケ - ド モ カ リ ハ

歌曲 秋思

六七

旅行

一、白雲みだれて 秋風涼し
いざく出でたて いざく行かん。

荒山荒川 横たふところ

このわが足もて 踏みこそ行かめ。

祖先のたましひ ころろにやざる

われ等が體の 強さを

ほこれやほこれ。

二、たとへば氷の 野山を行くも

照日に燃え立つ 砂原ゆくも。

われこそ大和の くにたみなれと

雄心起して 進めや友よ。

祖先のたましひ ころろにやどる

われ等が體の つよさを

ほこれやほこれ。

旅行

March tempo. ♩ = 126.

シュツンツ氏 (190)

歌曲 旅行

ニハク ツン ミダニ レテ シウ フマ ウスズ シイザ
ニハク ツン ミダニ レテ シウ フマ ウスズ シイザ
ニハク ツン ミダニ レテ シウ フマ ウスズ シイザ

イザイ デタ テイザ イザエ カン アラ ヤ マ アラ
イザイ デタ テイザ イザエ カン アラ ヤ マ アラ
イザイ デタ テイザ イザエ カン アラ ヤ マ アラ

カハヨコ タフトーコー ロ コノ
カハヨコ タフトーコー ロ コノ
カハヨコ タフトーコー ロ コノ

七二

旅行

歌曲 旅行

ワガ アニ モー テ フミ コソ ユカ メソ セセ
ワガ アニ モー テ フミ コソ ユカ メソ セセ
ワガ アニ モー テ フミ コソ ユカ メソ セセ

ンノタ マ シーヒ ココロニ ヤド ル ワレ
ンノタ マ シーヒ ココロニ ヤド ル ワレ
ンノタ マ シーヒ ココロニ ヤド ル ワレ

ラガカラ ダニツヨ サヲ ホコレヤホコレ
ラガカラ ダニツヨ サヲ ホコレヤホコレ
ラガカラ ダニツヨ サヲ ホコレヤホコレ

七一

普通音程及變化音程表

一度		二度		三度			四度			
完全	增	短	長	增	減	短	長	減	完全	增
音數0	1	1	2	3	2	3	4	3	5	6

五度			六度			七度			八度	
減	完全	增	短	長	增	減	短	長	減	完全
6	7	8	8	9	10	9	10	11	11	12

普通音程及變化音程表問題

短音程を半音減少したるものは？	長音程を半音増大したるものは？	完全音程を半音減少したるものは？	減音程を半音増大したるものは？	增音程を半音減少したるものは？
-----------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------

問題

(半音階的半音の義なり)

普通半音と半音階的半音

(甲)

(1) (2) (3)

(乙)

一度		二度		三度		四度	
完全	增	短	長	短	長	完全	增
音數0		1	2	3	4	5	6

五度		六度		七度		八度	
減	完全	短	長	短	長	完全	增
6	7	8	9	10	11	12	

(甲)

長二度 增二度 完全五度 增五度

(乙)

短三度 減三度 完全四度 減四度

普通半音と半音階的半音普通音程變化音程

普通音程 變化音程

茸 狩

一、 秋の香かいづこと たづね来れば

露さへ風さへ 袖に匂ふ。

薄うすはみだれて 小笹はしげれど

隠れあへぬ かくれ笠や

筐かたみにあまるまで あされやわが友。

いざく あされ わが友

いざく あされ わが友。

二、 筐にあまらば 尾花にぬけ

尾花に餘らば 袖につゝめ。

樂しの茸狩 たのしの遊あそや

空も晴れて 小春日こはる日和ひ

たのしの今日かな うたへやわが友。

いざく うたへ わが友

いざく うたへ わが友。

茸 狩

歌曲
茸狩

moderato ♩. = 80 アト代(獨)

アキタノカイヤツコトヲツ子クレバソ
ニかたみにあまらばをぼなにぬびーソを

ユバサハカゼサソデニニホフメスタ
ばなにかあまらばソデニニホフメスタ

ススキハミダレテヲザハシゲレドカ
しのただけがりたのさのあそびや

八〇

cresc. *mf*

ソラもアハレ又カクハレガサヤリカミ
のほはれ又かくるがさやりかたのし

茸 狩

歌曲
茸狩

ニのアハレマデアサレハヤリガトモイ
のあはれまなうさレハやわがとともい

サギイサギアサレハワガトモイ
いさぎいさぎあさレハわがとともい

イサギアサレハワガトモイ
いさぎいさぎあさレハわがとともい

七九

日本武尊

歌曲
日本武尊

Andante. ♩ = 80. *p* ガルック氏(獨)より

ナニ オフ ヤ マー トー ノ タ ケ ル ノー ミ コ ヤ

cres. *p*

ヲ シ ノ イ サ ヲ シ ア フ ゲ バ ゲー ニ カ シ コ

cres. *p*

cres.

ク マ ソ ノ ター ケ ル ヲ イ ハ ヤー ニ コ ロ シ

八四

p *pf*

イ ヅ モ ノ タ ケー ル ヲ カ ハー バー ニー タ フ シ

日本武尊

歌曲
日本武尊

p

ア ラ ブ ル ヒ ガ シ ノ エ ミ シ ヲ ウ チ テ

mf *f*

キ ミ ガ ヲ ヤ ス ラ ニ サ ダ メ マ ツ レ リ

dolce. *p*

ナニ オフ ヤ マー トー ノ タ ケ ル ノー ミ コ ヤ

cres. *p*

ヲ シ ノー イー サー ヲ シ ア フ ゲ バ ゲー ニ カ シ コ

八三

正義

一、正義の巷まちを われは迎むかえれば

おそれは抱かず

樂しく 樂しや

心はゆたかに

樂しく 樂しやく

身はやすし。

正義に勝まさる味方

いづれの世にもあらじ。

二、正義を好みて 友を招けば

正義は來りて

うれしく うれしや

親おやしの友たり

うれしく うれしやく

わが師したり。

うれしや更にわれは

正義の愛あい兒ことなる。

正義

Largh.tto. ♩ = 116.

モツァルト氏(填)の
歌劇「魔笛」中より編

歌曲
正義

ニセ いぎのちの マタ ヲレハ タニ ねニ
ニセ いぎのちの マタ ヲレハ タニ ねニ

レバ オソレハ イダ カズテ タノシ タ
レバ オソレハ イダ カズテ タノシ タ

八八

れし タれしや コタロの ユミ カリ タ
れし タれしや コタロの ユミ カリ タ

正義

歌曲
正義

れし タれし タれしや タれしや
れし タれし タれしや タれしや

ミハガヤスリ セイギニ マサル ミカレ
ミハガヤスリ セイギニ マサル ミカレ

八七

タ イゼイギの ヨニモア ラジ
タ イゼイギの ヨニモア ラジ

浦のあけくれ

(甲) むらさきの 横雲は

空にたなびきたり。

海は今さめて 夢路の闇を出でぬ。

(合唱) 寄りくる波 かへる波

さらり さらと響き

松の風 そよと吹く。

のどかなる けふの海や。

(乙) 網をつゝる 翁のかげ

あたゝかなり岸邊。

沖には白帆ぞ 雲に消えゆく。

(合唱) 寄りくる波 かへる波

さらり さらと響き

松の風 そよと吹く。

のどかなる けふの海や。

(丙) 海士の囀り 黄昏れつゝ

燈火は見え初めぬ。

ほのかに月さへ 磯馴の松に。

(合唱) 寄りくる波 かへる波

さらり さらと響き

松の風 そよと吹く

のどかなる けふの海や。

浦のあけくれ (其五)

(乙)

歌曲
浦のあけくれ

ア ミ ヲ ツ ツル オキ ナノカーゲ ア タ ターカ

ナ リ キ シーベ オキ ニハ シ

九二

ラ --ホヅ リモ ニ キエ --ユク

(合唱へ反り)

浦のあけくれ (其六)

(丙)

歌曲
浦のあけくれ

ア マ ノサヘ ヅリ タソ ガレーツーツ ト モシ

ビ ハ ミ エソーヌス ホ ノ カニ

九二

ツ キサヘ ソ ナレノ マーツニ

(合唱へ反り)

浦のあけくれ(其三)

(合唱)

歌曲
浦のあけくれ

ヨリクールナミカヘルナミサラ

ヨリクールナミカヘルナミサラ

ヨリクールナミカヘルナミサラ

Dolce.

リサラトヒビキマツノカゼ

リサラトヒビキカゼ

サラリサラトヒビキマツノカゼ

dim. Dolce.

九四

浦のあけくれ(其四)

歌曲
浦のあけくれ

ソヨトフクノドカナルケフノウミ

ソヨトフクノドカナルケフノウミ

ソヨトフクノドカナルケフノウミ

p fp

ヤ

ヤ

ヤ

p Rall. Fine.

九三

浦のあけくれ(其一)

歌曲
浦のあけくれ

Larghetto grazioso. ♩=100.

マッジンギ氏(英)より

musical notation with *dolce.* marking

musical notation with *dim.* marking

(7)

musical notation with lyrics: ム フ サ キ ー ノ ヨ コグーモーハ

九六

浦のあけくれ(其二)

歌曲
浦のあけくれ

musical notation with lyrics: ソ --- ラーニ タ ナ ビキーターリ

musical notation with lyrics: ウ ミ ハ イ マ サ --- ノーテ

musical notation with lyrics: ユ メヂノ ヤ ミ ライデーヌ

九五

協和音程

完全協和音程	完全一度
完全協和音程	完全四度
完全協和音程	完全五度
不完全協和音程	完全八度
不完全協和音程	長短三度
不完全協和音程	長短六度
不完全協和音程	長短二度
不完全協和音程	長短七度

不協和音程

長短四度	長短七度
減五度	增四度
其他の増減音程	

轉回によりて生ずる音程の度の差。

原音程	轉回音程	=	差
9-1	8	=	1
9-2	7	=	2
9-3	6	=	3
9-4	5	=	4
9-5	4	=	5
9-6	3	=	6
9-7	2	=	7
9-8	1	=	8

音程の轉回

(甲) 原音程 轉回音程 原音程 轉回音程

(乙) II VI III VII IV V V IV VI III VII II VIII I

轉回によりて生ずる音程の性質の差同。

- (1) 長音程の轉回は短音程
- (2) 短音程の轉回は長音程
- (3) 増音程の轉回は減音程
- (4) 減音程の轉回は増音程
- (5) 完全音程は轉回するも依然完全音程たり

復音程の例 (十一度)

樂しき森

一、友達

うちつれ 分け入る森蔭

鳥が音

しづかに 風音清らに。

こゝろをすまして たごるもたのしや

かたみに手を取り 語るも嬉しや。

二、

よろこび そよめく

八千枝の緑葉

たのしく さゞめく 岩根の眞清水。

われ等もこもろゝ よろこびたのしみ

諸聲打ち揚げ いざゞ歌はん。

森 じ き 樂

歌曲 樂しき森

一 トモ ドチ 二 ウチ ツレ 二 ワケ イ
ニ トモ ドチ ウチ ツレ 二 ワケ イ
ニ トモ ドチ ウチ ツレ 二 ワケ イ

ルの 一 モリカガ 一 トリガ子 一 シツカ
ニ みどりば 二 だのし 二 さぎめ

ワケ イル
ヤチ えの

モリカガ
みどりば

トリガ子
だのし

100

ニク 一 カガ オト 二 キヨラニ 二 コ
ニ いは ねの 二 まし み 二 わ

シツカニ
さぎめ

カガ オト
いは ねの

キヨラニ
まし み

ニコ
わ

森 じ き 樂

歌曲 樂しき森

コレ ロも スと マも シも テも タも
ノシ ヤカ
の し み ち

タルモウシシヤ
る ん
ニテ ヨトリカダ ルモウシシヤ
と テ ヨチ あ げ い ぎ う た は ん

カ
い

タルモウシシヤ
る ん

賤のをだまき

一、春を殘さぬ 鎌倉山。

わか葉しげし。

やまほとゝぎす 血に叫べど

聽く人も無きか かなしのわが身や。

『吉野山みねの白雪ふみわけて

入りにし人のあとぞ戀しき』

立ち舞ふ 袖の上に 涙ぞちる。

あな あはれ

あな あはれ。

二、春は昔の 夢ぞ消えて。

はかなき世や。

よるべなきさの 海士のをぶね

いづこに泊つる わが身のゆくする

『しづやしづ賤のをだまき繰り返し

むかしを今になすよしもがな』

歌へど 音にはなけぞ 聽く人なし。

あな あはれ

あな あはれ。

賤のをだまき

歌曲 賤のをだまき

Adagio. ♩ = 72. 佐々木氏 獨脚編

ニハルヲノコサヌカマクラヤマ
ニハルヲノコサヌカマクラヤマ

ワカバシゲシヤマホトトギスチ
ハカナシキヨヤマホトトギスチ

ニサケベドキクヒトモナキカカ
マのをぶドキクヒトモナキカカ

104

ナシノワカクミヤルヨシノヤシマミ
ガシノワカクミヤルヨシノヤシマミ

賤のをだまき

歌曲 賤のをだまき

チヅノシヲダユキフクミワケテイ
チヅノシヲダユキフクミワケテイ

リニシヒトノアトゾコヒシキ
カシをいまにナトゾコヒシキ

タチマフソデノウヘニナミダゾチ
ラタマフソデノウヘニナミダゾチ

ルアナアハレアアハレ
ルアナアハレアアハレ

105

卒業の歌

やよ やよ 學びの友ごち けふぞ いて行く 學びの庭。

あはれ あはれ 今日ぞ行く。

さらばよ師の君まささくまします。

めぐみ受けて をしへ受けて われらは行く。

うれしや うれしや うれしの心を人間はゞ

花よ櫻よ 見よや色にも出でたり。

これこそわれ等が うれしの心よ

こころよ。

和 絃

三和音と其種類

(甲) (乙) (丙) (丁)



長音階の各音上に
成立する三和音



普通和絃の重複及び削除

(甲)

(乙)
第五音
の重複

(丙)
第五音
の削除

根音を重複せるハの長和絃



副主七度和絃と其轉回

(甲) (乙) (丙) (丁) (戊)

普通和絃の轉回

(甲) (乙) (丙)



卒業の歌

Andante moderato. ♩ = 92-108.

リソルディ(自)より

歌曲
卒業の歌

First system of musical notation on page 108, featuring a vocal line and a piano accompaniment. The tempo is marked 'Andante moderato' with a metronome marking of 92-108. The key signature has two flats, and the time signature is common time (C). The lyrics are 'シ ヲ ヲ ヲ マ ナ ビ ノ ト モ ド ナ'.

Second system of musical notation on page 108. The lyrics are 'イ テ ユ ー ク マ ナ ビ ノ'.

Third system of musical notation on page 108. The lyrics are 'ハ ア ハ ー レ ケ フ ヅ ユ ク サ'.

Fourth system of musical notation on page 108. The lyrics are 'ラ バ ヲ シ ノ キ ミ マ サ キ ク マ'.

Fifth system of musical notation on page 108, ending with a double bar line. The lyrics are 'シ マ セ メ グ ミ ウ ケ ー テ' and 'ク マ シ マ セ メ グ ミ ウ ケ テ'.

一〇八

卒業の歌

歌曲
卒業の歌

First system of musical notation on page 107, featuring a vocal line and a piano accompaniment. The lyrics are 'ヲ シ ヘ ヲ ケ テ ワ レ ラ ハ ユ ク ウ レ'.

Second system of musical notation on page 107. The lyrics are 'シ ヲ ウ レ シ ヲ ウ レ シ ノ コ コ ー ロ'.

Third system of musical notation on page 107. The lyrics are 'ヲ ヒ ト ト ハ バ ハ ナ ー ヲ サ ク ー ラ ー ヲ ミ'.

Fourth system of musical notation on page 107. The lyrics are 'ヨ ー ヤ イ ロ ニ モ イ テ タ リ コ レ コ ソ ワ レ'.

Fifth system of musical notation on page 107, ending with a double bar line. The lyrics are 'ラ ガ ウ レ シ ノ コ コ ロ ヲ コ コ ロ ー ヲ'.

一〇七

さかゆく大御代

一、九重に照日なして 輝く大君

畏くも現つ神ぞ おろがみたふとめ

やよ仰げく 君の御稜威

やよ見よく みひかり

いざ諸共に 君が御代を

祝ひて私へよ さかゆく大御代。

二、天つ神護り給ふ 君こそ我君

天地も四の海も ひとつにより来よ

やよ仰げく 四方の人等

やよ見よく みめぐみ

いざ諸共に 君が御稜威

仰ぎて稱へよ さかゆく大御代。

さかゆく大御代(其三)

歌曲 さかゆく大御代

さかゆく大御代(其一)

ベートホーフエン氏(獨)より

Maestoso. ♩ = 80.

歌曲 さかゆく大御代

一
二
三

さかゆく大御代(其二)

歌曲 さかゆく大御代

中等音樂教科書乙種卷の四終

附
錄

日本音樂の音階

諸旋法より成れる旋律の對照

長旋法(八調)

(甲) 
八調長旋法より成れる旋律



短旋法(八調)

(乙) 
八調短旋法より成れる旋律



陰旋法(八調相當)

(丙) 
八調相當陰旋法より成れる旋律



陽旋法(二調相當)

(丁) 
二調相當陽旋法より成れる旋律



同  上

陰 旋 法

上行音階 下行音階



(横に記したる文字は西洋音階の階名を當て嵌めたるもの)	VI	Mi	VI	Mi
	V (上行音)	Re	V (下行音)	Do
	IV	Si	IV	Si
	III	La	III	La
	II	Fa	II	Fa
	I	Mi	I	Mi

上行音階

下行音階

陽 旋 法

上行音階 下行音階



(横に記したる文字は西洋音階の階名を當て嵌めたるもの)	VI	Re	VI	Re
	V (上行音)	Do	V (下行音)	Si
	IV	La	IV	La
	III	Sol	III	Sol
	II	Mi	II	Mi
	I	Re	I	Re

上行

下行

國、各々其言語、風俗、習慣等を異にすれば、其音樂また各々特殊の風致色彩を帶ぶるは、自然の理なり。

獨逸の樂風が、専ら理智的 (*Intelective*) にして、端嚴壯重の趣きに富み、以佛の樂風が、寧ろ抒情的 (*Lyrical*) にして、流暢雅麗の味ひに富むが如き、皆よくその民性、國風を表はすものならずとせんや。

我國在來の音樂また前掲の如き特殊の旋法を有し、其節度、其樂式及び其趣味等にも亦自然の特徵あり。

然かも我在來の音樂は、之を西洋のものに比較する時は、其規模の小なる其音質の貧弱なる、其樂理的の研鑽を缺ける (これ我が在來の音樂が學習的秩序整はずして、直ちに教育上に應用し難き一因等、遠く彼に及ばざる點多きこと、恰も我が他の百般の文物が、概して皆彼に學ぶべき點多きが如く然り。

今や乃ち、大に泰西の音樂と其樂理とを收採し、之を咀嚼し之に學び、又さらに彼我音樂の特質形式等を遂究して、以て將來大なる我が國樂の基礎を樹立せんとしつゝあり。

前掲の日本旋法論の如き、即ち彼の樂理を應用して、我が音樂を照査し

たる、最近研究の結果の一たり。

實に、現今我が音樂の情況は、過渡の時期、研究の時代にあるものと云ふべし。

現下、歐洲の音樂は、既に其進歩の頂點に達し、殆ど發展の餘地を剩さずと稱せらるゝ、が中に、新進特殊の樂風として、頭角を露はしつゝ、あるものは、露西亞の音樂 (*Germano-Slavic School*) なり。蓋し露西亞には、古く、他の歐洲樂に見ざる一種東洋風の旋律を有し、其の樂風また、東洋的情熱を含むを以て、特徵とす (露國本來の樂器は、我が三絃に類する、バラ、イカ (*Balalaika*) と稱する絃器なり)。

我國は、將來、東西兩洋の文明を、溶和大成するの使命を有すと稱せらる。我が音樂が、向後幾多の研鑽陶汰を経て、其從來有したりし特徵が、大に精鍊發揮せらるゝに至るべきか、或は全然別様のものと成るべきかは、今俄かに判斷し難しと雖も、何れにもせよ、吾人は、やがて今の模倣研究等の時代を出で、將來帝國の音樂として、世界に誇るに足るべき健全なる御國風の建設せられんことを望まざるべからざるなり。

此書係由東京大學文學部教授
 佐久間町二ノ一三
 岸本福太郎氏所著
 其內容之豐富
 實為我國音樂史之寶
 貴資料也
 茲將其內容要略
 列後
 一、中國音樂之概論
 二、中國音樂之發展
 三、中國音樂之分類
 四、中國音樂之演奏
 五、中國音樂之欣賞
 六、中國音樂之研究
 七、中國音樂之未來
 八、中國音樂之國際化
 九、中國音樂之民族化
 十、中國音樂之現代化
 十一、中國音樂之國際化
 十二、中國音樂之民族化
 十三、中國音樂之現代化
 十四、中國音樂之國際化
 十五、中國音樂之民族化
 十六、中國音樂之現代化
 十七、中國音樂之國際化
 十八、中國音樂之民族化
 十九、中國音樂之現代化
 二十、中國音樂之國際化

明治四十四年十二月十三日印刷
 明治四十四年十二月十六日發行
 大正三年七月二十日訂正參版
 大正九年四月廿九日九版

不許複製

編者

發行者兼印刷者

印刷所

發行所

中音教乙ノ四

大正十年度臨時定價

金八拾八錢

卷	定	價
卷一	金廿七錢	
卷二	金廿六錢	
卷三	金廿八錢	
卷四	金四十錢	

北村季晴

東京市芝區南佐久間町二ノ一三
弘樂社出版部

岸本福太郎

東京市芝區南佐久間町一ノ三
弘榮堂印刷部

弘樂社出版部

(振替東京 四五九五九)
 (電話高輪 一四三七)



